

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年7月16日 金曜日

マップのサンプル解説 (1) - 準備

Oracle APEX 21.1よりサンプル・アプリケーションが[GitHub](#)より提供されています。マップ・リージョンについてもサンプル・アプリケーションが提供されているので、そこで使用されているテクニックを確認してみます。

マップのサンプルにはいくつかの実装例が含まれています。その中の5種類の実装について紹介します。Faceted Searchはほぼ標準機能なので今回の作業からは外しました。

1. 準備 - この記事です。
2. クリックした医療機関をマップの中心にする - サンプルのClickable Map
3. レポートで選択した医療機関をマップに表示する - サンプルのSearch and Show
4. 円形ツールを使う - サンプルのCircle Search
5. マップに表示されている医療機関をレポートする - サンプルのMap and Report
6. 近隣の医療機関をレポートする - サンプルのNearest Neighbor Search

最近作成した**全国医療機関の医療体制の状況**をマップに表示するアプリケーションに機能を追加することにより、実装の手順を示します。作業の元になるアプリケーションのエクスポートは以下になります。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/c19-medical-facilities.sql>

データとして東京23区のデータをロードしました。他の地域のデータをロードしても作業に違いは発生しないはずなので、お住まいの地域を選んでよいと思います。

上記のすべての作業を行なったアプリケーションのエクスポートは以下に置いています。

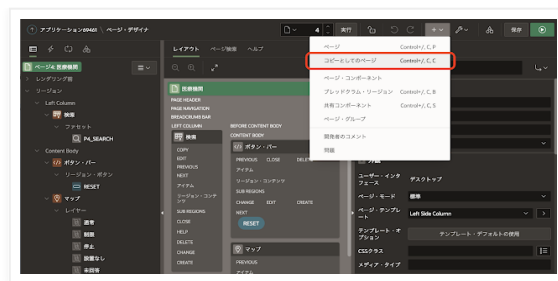
<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/c19-medical-map-sample.sql>

元になるページの準備をする

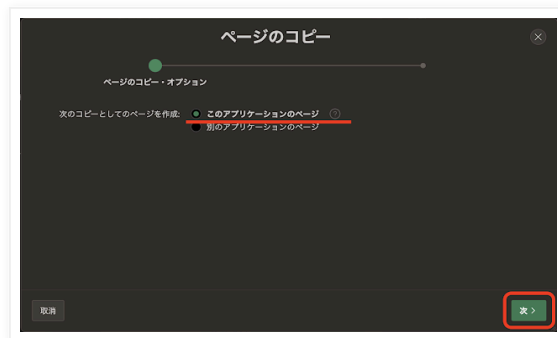
最初にそれぞれの機能を実装するページの元とするページを作成します。すでに作成済みのページはレイヤーが複数あったり、機能のカスタマイズを行うには足りない設定があるため、その部分を変更します。

最初にマップ・リージョンを含むページ、ページ番号4の医療機関のページをコピーします。

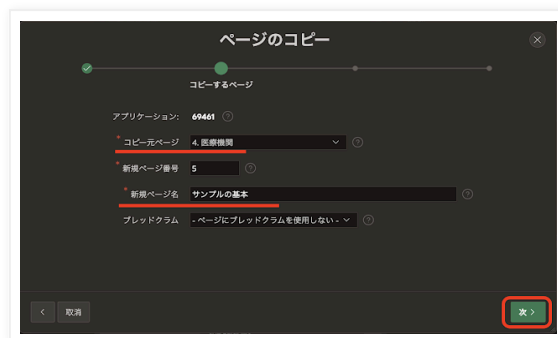
ページ・デザイナーより作成メニューのコピーとしてのページを実行します。



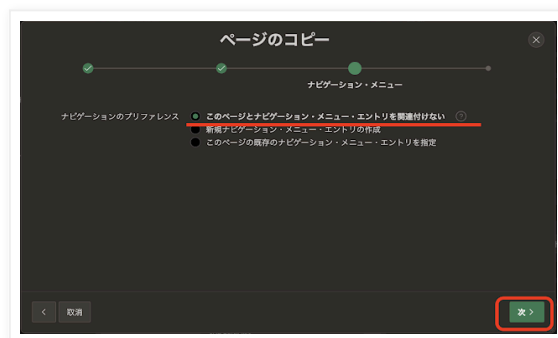
次のコピーとしてのページを作成として、このアプリケーションのページを選択します。次へ進みます。



コピー元ページとしてマップ・リージョンを含むページである4.医療機関を選択します。新規ページ名はサンプルの基本とします。次へ進みます。



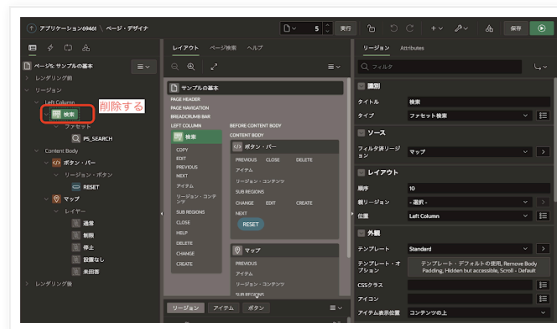
これから作成するページを元にいろいろなテクニックを実装していきます。それぞれのテクニックを実装する際には、今からコピーして作成するページをさらにコピーします。そのため、このページをナビゲーション・メニューより呼び出すことはありません。ナビゲーションのプリファレンスは、このページとナビゲーション・メニュー・エントリを関連付けないを選択します。次へ進みます。



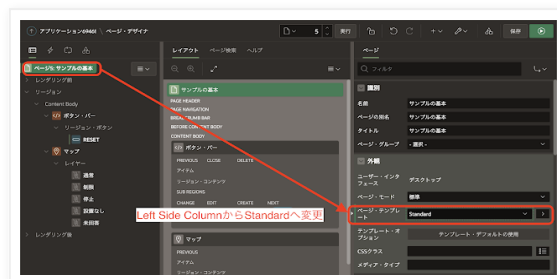
ラベルの文字列や静的IDを変更する画面が開きます。ここでは何も変更せず、コピーを実行します。



新規にマップ・リージョンを含んだページが作成されます。最初にファセット検索のリージョンである検索を削除します。



ファセット検索のリージョンを削除したので、ページ・プロパティのページ・テンプレートはLeft Side Columnである必要がありません。**Standard**へ変更します。



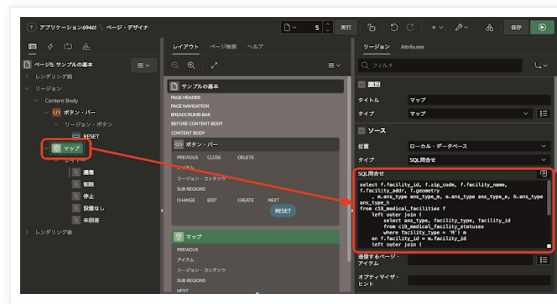
レイヤーを1つにします。マップ・リージョンのソースのSQL問合せを以下に変更します。マップ上に表示される医療機関を特定するため、**f.facility_id**を検索列に追加し、行割当てのために使用していた列**ANS_TYPE**を削除します。

```
select f.facility_id, f.zip_code, f.facility_name, f.facility_addr, f.geometry
      , m.ans_type ans_type_m, e.ans_type ans_type_e, h.ans_type ans_type_h
from c19_medical_facilities f
  left outer join (
    select ans_type, facility_type, facility_id
    from c19_medical_facility_statuses
    where facility_type = 'M') m
on f.facility_id = m.facility_id
  left outer join (
    select ans_type, facility_type, facility_id
    from c19_medical_facility_statuses
    where facility_type = 'E') e
on f.facility_id = e.facility_id
  left outer join (
    select ans_type, facility_type, facility_id
```

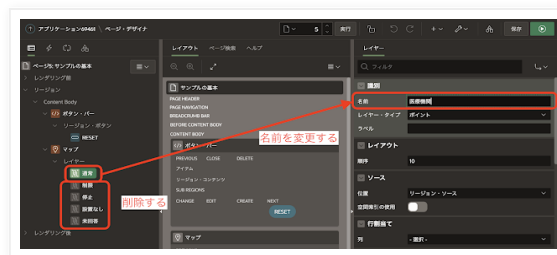
```

from c19_medical_facility_statuses
where facility_type = 'H') h
on f.facility_id = h.facility_id

```

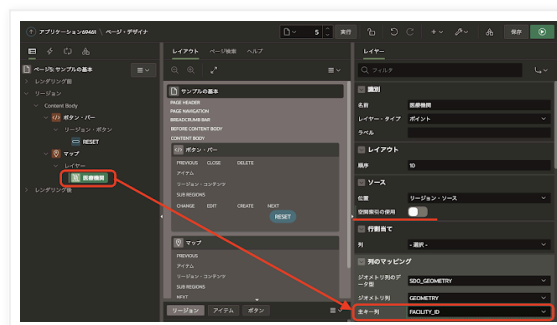


レイヤーの通常を選択し、識別の名前を医療機関へ変更します。また、制限、停止、設置なし、未回答のレイヤーを削除します。

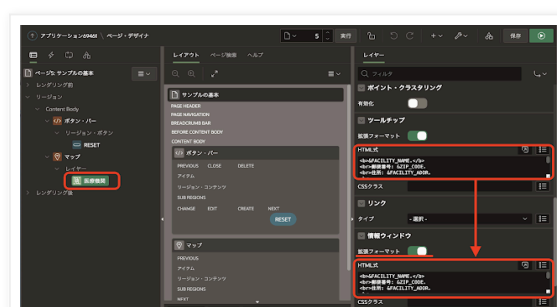


1 つになったレイヤー医療機関を選択し、列のマッピングの主キー列としてFACILITY_IDを選択します。

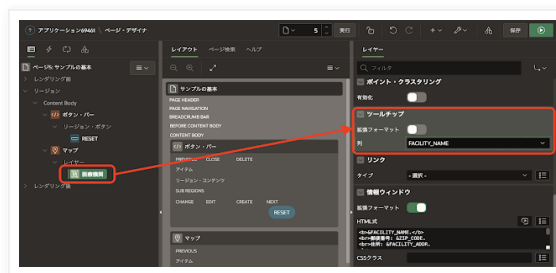
レイヤーが1 つだけでジオメトリ列に空間索引が作成されていると、ソースの空間索引の使用をONにすることができます。これをONにできると、マップ・リージョンに表示される領域に検索結果が限定されるため、パフォーマンスが向上することです。指定が可能であれば検討する価値があるでしょう。



情報ウィンドウの拡張フォーマットをONに変更し、ツールチップのHTML式を情報ウィンドウのHTML式へコピー＆ペーストします。



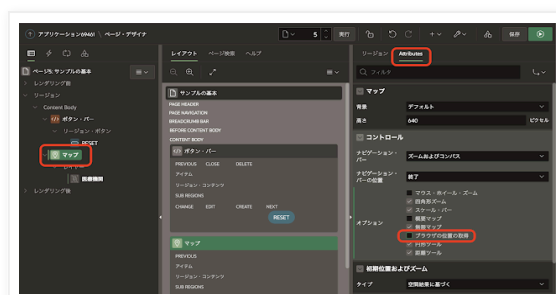
ツールチップは拡張フォーマットをOFFにし、列としてFACILITY_NAMEを選択します。



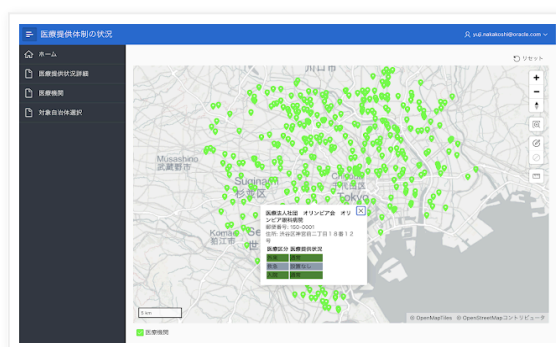
マップ・リージョンを選択し、静的IDとしてmedical-facilities-regionを設定します。



Attributesを開き、コントロールのオプションからブラウザの位置の取得のチェックを外します。



以上で準備は完了です。作成したページを実行してみます。ナビゲーション・メニュー・エントリは作成していないため、左のナビゲーション・メニューからは呼び出すことはできません。



このページを元にして、マップのサンプル・アプリケーションで利用されているテクニックを実装していきます。

続く

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
